

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ひっぽファミリー		2025年 3月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	特性の強い児童のご利用日には、スタッフが専属で1人必要なので少し困る事がある。スタッフ間での支援の仕方の共有を行っている。	それぞれのお子様の障がい特性への理解がスタッフによって知識の偏りがあるので、各スタッフのスキルアップを目指していきたいと思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	教室に降りるには階段がありますが、室内はバリアフリーになっています。利用者の方々は階段の上り下りには手すりを必ず持ってもらうように伝えている。	歩行が難しいお子様にはスタッフが支え、安全対策をしっかりと、利用に繋げていきたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日、教室内の掃除・整理整頓・消毒等を行ない、利用者が快適に過ごせる様に心掛けている。又、子供達にも手伝ってもらい、掃除のやり方・整理整頓を学んでもらっている。	利用者様にも丁寧に掃除、整理整頓をすることを伝えていき、日々の生活や就労に役立つ、繋がるようになればと思います。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	利用者の活動したい内容や要望に応じて相談室を利用している。	相談室が1部屋しかないので重なった時に困る事がある。廊下等を利用し、クールダウンに繋がるように取り組んで行きたいと思っています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	評価表をスタッフ全員で見直し、話し合いをして改善に繋げていきたい。	所属スタッフ全員が集まり話す時間が取れないことが多い。集まれる時間を作る工夫が必要である。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎朝ミーティングや前日の送迎後の振り返りを行なっています。	短時間しか取り組めないことが多い。話し合いの時間を出来るだけ長く取れるようにしていきたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	未だ第三者による外部評価は受けていません。	今後、第三者の外部評価を行い、事業改善に努めていきたいと思っています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	社内研修・外部研修等には積極的に参加している。みんなで共有し、資料も保存している。	スタッフみんなが研修に受けれることが出来ればよいかなと思います。
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	4ヶ月ごとに面談という形で子供の情報交換をし、ニーズや計画を作成している。	各スタッフが保護者の方のニーズの聞き取りやニーズを引きだし、より良いサービスの提供や計画作成に積んでいきたいと思っています。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	共通理解を図るためにミーティングを行っている。	今後は、ミーティング時間を増やし、お子様への支援やサービスの向上に努めてきたいと思っています。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	ミーティングの時間を取り、共有・支援に添えるようにしています。	ミーティング時間のより多く取れるように取り組んできたいと思っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2	地域との連携がなかなか取りにくい地域清掃は週に1回参加している。又、移行支援も保護者の方と話す事は多くあるが、次に事業所と話す機会が少ない。	今後は地域やご家族への支援等を視野に入れつつ、計画表を考えていきたいと思っています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	ミーティング等を行ない、プログラムの内容等の決定を行っている。常に職員でミーティングを行っています。	プログラムに飽きがないように、プログラムを発展させ、お子様が楽しめる活動を考えていきたいと思っています。

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	毎月、変更し、平日と長期休み等でお出かけプログラムやアトリエで楽しめるプログラムを作っています。	プログラムに飽きがないように、プログラムを発展させ、お子様が楽しめる活動を考えていきたいと思っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	出勤時、必ず行う様に徹底しています。	役割分担が不十分さがみられる時もあるので、事前の話し合いでしっかり話を詰め、スタッフ間で連携して取り組んでいきたいと思っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	平日は出来るが、長期休みや土・日・祝は翌日以降になるが、Line等で連絡は取り合っています。	伝達事項はなるべく、その日に行い、不具合が起きた時には、すぐ話し合いができる体制を考えていきたいと思っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	毎朝、前日の良かった所や悪かった所を振り返り、次に繋げている。	話し合ったことを他スタッフに伝達できるように体制を整えていきたいと思っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	4ヶ月ごとに行っている。	今後も、4か月に1度で取り組んでいきたいと思っています。また、環境等変化により見直しが必要な場合は速やかにモニタリングをやり直しを行いたいと思っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	2		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	8	0	選択肢から選んでもらえるように支援している。	選ぶことが難しいお子様は2つの選択肢から選ぶ練習をし、徐々に選択肢を増やし、選ぶことに慣れてもらうように取り組んでいます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	送迎時に学校での子供の様子について話しているが、あまり時間を取れない。	担当の先生との交流を多くとり、学校やデイでの様子を伝えあえる関係性づくりに取り組んでいきたいと思っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	系列の児童発達支援との情報共有は行っています。	今後は、保育所や幼稚園等とも情報共有の場を作っていきたいと思っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	保護者や他からの引継ぎの時間を取っている。	保護者の方を通して、就労先との情報共有をしています。今後も積極的に取り組んでいきたいと思っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	8	未だ地域の児童発達支援センターとのつながりが無く、連携が取れていない。	今後は、地域の児童発達支援センターと連携を積極的にとり、必要に応じて助言をいただく機会を作っていきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	2ヶ月1回、阿倍野区児童部会に参加し、自立支援協議会の取り組みにも参加し、その情報等も共有している。	今は、児童発達支援管理責任者が参加していますが、他スタッフにも参加してもらい、取り組みへの理解や他事業所との交流にも参加して貰おうと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	保護者の方主催のNPO団体の研修等のお知らせを通所児童の保護者の方に連絡しています。	家族支援に繋がるような研修の機会や情報提供をしていきたいと思っています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	4～5ヶ月に一度、面談を行い、保護者の意向や相談援助を行っている。	保護者のニーズをお聞きし、デイでの支援に活かすように取り組んでいきたいと思っています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	4～5ヶ月に一度、面談を行い、保護者の意向や相談援助を行っている。	子育ての悩み等にこたえられるよう、スタッフのスキルアップに力を入れていきたいと思えます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	保護者会は今現在、ありません。	保護者会を設立しようと考えていますが、皆さんもお忙しく、時間が取れないとのことのお返事が多く、検討中です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎月、ひっぼだよりやブログに日々の様子を載せている。	日々の子どもたちの活動や様子がわかるようなひっぼだよりやブログにしていきたいと思えます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報の書類は、鍵付書庫に保管し、管理者が管理している。	今後も厳重に保管をしていきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	月に1回避難訓練を行っている。又、緊急時の防災用品も準備している。	いろいろな災害のパターンを想定して、避難訓練を行っています。保護者の方にも避難訓練の様子をお伝えし、実際に災害が起きた時にどうするのか、連絡体制等、再度考えていきたいと思えます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	保護者を通して医者からの指示対応を聞いている。全スタッフが対応出来るように共有している。	てんかん発作等、持病のある子どもが発作を起こした時のシミュレーション再度行っていきたいと思えます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	保護者を通して医者からの指示対応を聞いている。全スタッフが対応出来るように共有している。	各スタッフに子どものアレルギーを確認してもらい、対応していきたいと思えます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	緊急時の連絡先等を聞いている。	緊急時に連絡方法をもう一度、保護者と確認をし、安全確保に努めていきたいと思えます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	発生した場合、その日にミーティングをし、再発防止に努めている。	ひやりはっと事例が発生したら、その日もしくは次の日に、記憶が新しい状態で話し合いをし、解決策をスタッフみんなで見つけていくようにしていきたいと思えます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	今まで身体拘束が必要なお子様はいない。	今後、身体拘束が必要なお子様がおられましたら、保護者の了承を必ず頂き、個別支援計画書に必要な旨を記入していきたいと思えます。	